

NEW スタッフのご紹介

谷田裕之 理学療法士
理学療法士になって約5年、前職では主に高齢の方のリハビリを行っていました。山口病院では幅広く患者さまが治療を受けにこられるので、毎日が勉強です。一日でも早く慣れ、患者さまとの信頼関係を築きながら、心身ともに健康になってもらえるように努めています。
(2013年3月入職)

熊谷仁美 看護師(病棟)
以前は他の病院に勤務していたので、今は整形外科の領域や手術について勉強中です。まずは仕事に慣れてできることから取り組んでいきたいと思ひます。山口病院を明るく楽しくしていくお手伝いができるようにしていきたいです。
(2013年3月入職)

伊藤沙織 看護師(外来)
現在、子育てをしながら働いています。患者さまに丁寧に対応している先輩方を見習い、笑顔を大切にしながら手際よく、臨機応変に対応ができるようになりたいと思ひます。また新人ですが、これからも頑張っていきたいと思ひますので、どうぞよろしくお願ひします。
(2013年4月入職)

富田悠利恵 看護補助
以前、祖父が入院した際に、看護師さんが笑顔で働く姿を見て、憧れるようになりました。現在、看護師を目指して勉強中です。明るくあいさつをする先輩方を見習い、看護についてはもちろん、患者さまとの接し方など幅広く学び、成長していきたいと思ひます。
(2013年3月入職)

部門紹介 第6回【検査科】

●外来から病棟まで幅広く検査

当科では、血液検査、心電図、尿検査、動脈硬化を判定するフォルム検査といった院内の検査全般を担当しています。他にも、入院の際の検査や輸血が必要な場合の段取りなど幅広く業務を行います。検査の結果に異常がある場合は、担当医師への報告はもちろん、より詳しい検査をするために放射線科などとの連携も必要になるため、部門を越えた情報共有や日ごろからのコミュニケーションが大切です。



また、患者さまの状態を把握するために、早く正確に結果を出すことを心掛けて検査に取り組んでいます。



臨床検査技師 近藤鈴江



「家族を想う気持ち大切に」という当院の理念と同じように、患者さまお一人おひとりに対し、家族を想うように接することを心掛けています。必要な検査を迅速に行うことも大切ですが、できるだけ不安な思いや緊張を与えないよう言葉をかけながら検査をしています。もし、疑問に思うことや心配なことがあれば遠慮せずにお声がけください。

次回は【栄養科】を紹介します

数字で知る やまぐち

さて、この数字はなんでしょう？

583件

正解は… 「内視鏡検査の件数」

平成24年1月から12月までの内視鏡の検査件数は583件です。特に、胃ファイバー検査が多く404件となっており、この検査のうち42件が経鼻内視鏡による検査です。この他、大腸検査が179件実施されました。また、内視鏡検査において、ポリープ切除術を59件、胃ろうを1件行っています。

内視鏡検査件数

胃ファイバー検査	404件
経鼻内視鏡検査	(42件)
大腸検査	179件
ポリープ切除術(EMR)	(59件)
胃ろう(PEG)	(1件)
合計	583件

おいしい低カロリーメニュー

麩とチキンのハンバーグ



材料(4人分)

焼き麩(40g)、鶏ひき肉(320g)、溶き卵(1/2個分)、塩・こしょう(各少々)、サラダ油(少々)
A水(1/2カップ)、コンソメの素(1個) **B**ポン酢ソース:ポン酢しょうゆ(適宜)、オリーブオイル(少々)、粗びき黒こしょう(少々)

作り方

- ①麩はビニール袋に入れてすりこぎなどでたたいて細かく砕き(またはフードプロセッサーで細かく砕く)、**A**と合わせる。
- ②ボウルに**1**、鶏ひき肉、溶き卵、塩・こしょうを合わせ、粘りがでるまで混ぜ合わせる。
- ③4等分に分け、サラダ油を塗った手で形を整え、両面こんがり焼き上げる。
- ④**B**のソースをかける。

山口病院 NEWS

5月1日より 院外処方箋をスタートしました

ジェネリック医薬品などを希望される方向けに、当院以外の薬局でも薬を受け取れる「院外処方箋」の取扱を始めました。まずは診察の際に担当医へご確認ください。



今号の表紙

場所: 本光寺(愛知県額田郡幸田町)

1523年に深溝松平家の菩提寺となった本光寺。別名「あじさい寺」と呼ばれ、毎年6月上旬から下旬にかけて見頃になります。境内へ続く石畳の参道には15種類1万本ものあじさいが咲き乱れます。



理念 家族を想う気持ちを大切にしたい

基本方針

1. 患者さま本位の医療
…患者さまに対して家族や大切な人を想う気持ちを持って接するよう心がけます。
2. 地域への貢献
…24時間体制で地域住民に対して安心できる医療を提供できるよう努力します。
3. 向上心と信頼関係
…私たち職員は、常に向上心を持ち、お互いに尊敬し、信頼できる関係でありたいと思ひます。

診療科目

- 一般診療 整形外科、内科、外科、消化器科、脳神経外科、リウマチ科、リハビリテーション科、皮膚泌尿器科、肛門科、放射線科、麻酔科
- 特殊診療 CPAP(睡眠時無呼吸症候群治療)、AGA(男性型脱毛症) 在宅酸素療法、禁煙治療、ED(勃起障害治療)
- 病床数 60床(うち亜急性病床 10床)

診療日

	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00~12:00	●	●	●	●	●	●	×
午後 4:00~ 6:00	●	●	●	●	●	×	×

休診日/日曜日・祝日・土曜日午後 ※救急・ケガ等の場合はいつでも診療いたします(24時間体制)

医療法人 山和会 山口病院

〒457-0836 名古屋南区加福本通3-28

TEL 052-611-6561(代) FAX 052-613-0333

名 鉄:「大江駅」下車、南へ150m
市バス: 新瑞橋13系統(左回り)/新瑞橋14系統「港東通」下車 神宮15系統「大江駅前」下車

日本医療機能評価機構認定病院
当院では、医療の質向上の取り組みとして、財団法人日本医療機能評価機構による審査を受け、平成22年4月2日付で認定されました。

<http://www.yamaguchi-hp.jp>



ケータイ・スマートフォンサイトもご覧ください



やまぐち

患者さまと病院をつなぐ広報誌
2013 Summer

拡大スペシャル版

健康シリーズ

単なる「もの忘れ」?
それとも認知症?

スペシャルインタビュー

内科部長 吉川 武志

ご自由にお持ち帰りください



スペシャルインタビュー

医学博士 内科部長 吉川 武志



プロフィール
 岐阜大学医学部付属病院第一内科、岐阜市民病院、
 一宮市立木曾川市民病院で勤務。2013年4月、
 山口病院内科部長(内科・消化器科担当)に。
 日本内科学会認定医、日本消化器病学会専門医。

高齢化や医学の進歩によって、内科の役割はさらに高まります

— 山口病院についてどんな印象を持っていますか？

非常勤医師として長く理事長や院長の仕事ぶりを拝見してきましたが、おふたりとも医者のスーパーマン。大病院でも難しいとされ転院してきた患者さまを、回復へ導く症例を間近で拝見するたび、すごいなあと感じさせられます。

またスタッフが明るくて、とても雰囲気がいい。「家族を想う気持ちを大切にしたい」という理事長の教育理念が、しっかりとスタッフに浸透しているのだと思います。

— これからの「内科」の役割について、どのようにお考えですか？

高齢化が進むことによって手術をできない方が増えますし、がんについても手術ばかりが治療ではなくなっていくでしょう。そうすると、内科のやるべき領域は増える可能性が高いと考えています。

— 最近、内科すべてを診る「総合内科」という言葉をよく耳にするようになりました。

もともと私は、内科医であるかぎり消化器も循環器もすべて関わってると考えていたので、「内科のジェネラリスト(多方面の知識を持つ人)」を目指して、内科全般を幅広く実践で学んできました。ですから、総合内科という方向性は当然の流れだと受け止めています。

— 内視鏡検査(胃カメラ)も担当されていますが、この検査の重要性についてお聞かせください。

がんの早期発見はもちろんですが、逆流性食道炎、胃潰瘍、ピロリ菌などの治療にも有用なので、QOLの向上や改善につながりやすい。しかも今年4月から「NBI内視鏡*」と

いう新しい機器が導入され、検査における解像度が大幅にアップしました。通常では見逃してしまうような微細なものも捉えることができ、がんの発見率もさらに高まると思います。

— 鼻から挿入する「経鼻内視鏡」の人気が高まっているようです。

たしかに、経鼻内視鏡はスコープが細くて、ラクに検査を受けられる点が魅力です。ただし医者からの立場からいうと、見やすさの点では、スコープを口から挿入する「経口」のほうが優れます。特にご希望がなければ、医者としては「経口」をお勧めしたいですね。

— これからの目標をお聞かせください。

山口病院は外科としての歴史がある病院です。その強みを活かしながら、内科的な診療もぜひ充実させていきたいですね。そして、近隣にある大病院の先生方との関係をいっそう強化し、今まで以上に地域の患者さまに役立つ病院になっていきたいと思っています。



※NBI内視鏡
 Narrow Band Imaging(狭帯域光観察)。
 特殊な光を当て、粘膜表面の血管や粘膜の微細模様であるピットパターンなどを強調表示する光学的な画像強調技術。

「認知症」を疑ったら、早めに医師に相談を。

高齢者10人に1人が認知症

認知症は年々増えており、厚生労働省の推計では、2012年の認知症の高齢者(65歳以上)は、全高齢者の10%に当たる305万人とされています。この割合は今後さらに増え、2025年には12.8%(470万人)という数字がはじき出されました。もはや誰にとっても認知症は他人事ではないといえるでしょう。

認知症は早期治療で症状の進行を遅らせることができますが、徘徊や失禁など、明らかに認知症と分かる段階まで症状が進んでしまうと、治療はとて厳しくなります。「最近、もの忘れが多くなった」「怒りっぽくなった」「いい言葉が出てこない」など、いつもと違う自分に心配や不安を覚えたら、「年のせいだろう」などと勝手に判断したりせず、できるだけ早めに受診することが大切です。

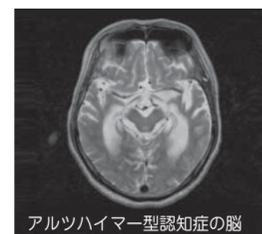
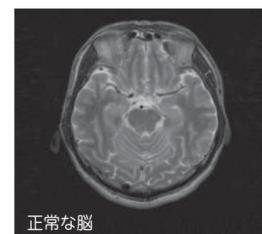


高齢者の
 10人に1人は
 認知症

症状の原因を明らかに

高齢者に認知症が多いのは事実ですが、発症する年齢は千差万別のため、40代や50代だからといって安心はできません。診断のポイントとなるのは、いつ頃から、どのような症状や変化が現れたか。本人が変化に気づかないケースもあるので、ご家族の方も一緒に来院されることをお勧めします。診察では、問診と簡易的なテストを行います。テストは医師の質問に答えていく簡単なものですが、単なる「もの忘れ」が

判別するうえで非常に有用となります。認知症の可能性がある場合、頭部CTや脳のMRI検査による画像診断を行います。状況によっては脳の血流低下パターンを確認する『SPECT』という精密検査も駆使し、脳の状態を詳しく調べます。



判別するうえで非常に有用となります。認知症の可能性がある場合、頭部CTや脳のMRI検査による画像診断を行います。状況によっては脳の血流低下パターンを確認する『SPECT』という精密検査も駆使し、脳の状態を詳しく調べます。

◀認知症の方の多くは、脳が強く萎縮しています。白い部分は隙間が空いています。

広がる治療の選択肢

一口に認知症といっても、じつはさまざまな種類があります。最も多いのは、脳が萎縮する「アルツハイマー型認知症」、脳の血管障害が引き金となる「脳血管性認知症」の2つです。両者の混合型も含めると、全体の約3分の2を占めるといわれます。これら以外にも、前頭型、前頭側頭型、レビー小体型、アルコール性、薬物性など数多くの種類が存在します。まずは何型であるかを明らかにし、患者さま1人ひとりにふさわしい薬を選ぶことが、良好な治療へとつながります。認知症は、まだまだ解明できていない部分もありますが、最近では症状に合わせた薬の種類も増え、治療の選択肢の幅は着実に広がっています。

	アルツハイマー型認知症	脳血管性認知症	その他
発症	女性に多いとされる	50歳以降の男性に多い	
主な原因	脳の神経細胞の間にシミのような斑ができ、脳が萎縮することで起こる	脳梗塞や脳出血によって、その周辺の脳の機能が障害されて起こる	前頭側頭型認知症 レビー小体型認知症 アルコール性認知症 薬物性認知症 など
主な症状	・最近のことを思い出せない ・時間の認識ができない ・場所の判断ができない など	・怒りっぽくなるなど人格が変わる ・言語障害や嚥下障害 ・手足の感覚麻痺 など	

ドクターからのメッセージ

認知症は症状が進むと、台所でうっかり火事を起こしたり、徘徊を繰り返したりと、事故にあう危険性も高くなっていくので、医学的にも社会的にも早期治療がとても重要となります。受診する窓口としては、「内科」「精神科」「認知症外来」など病院によってさまざまです。山口病院の場合、私が担当する「脳神経外科」で診断・治療をきめ細やかに行っています。「認知症かも」と少しでも不安に感じたら、お気軽に受診してください。



森田 功
 脳神経外科、脳卒中、救急科の3つの分野で専門医に認定。当院では毎週木曜日、診療と病棟の回診を行っている。

脳神経外科外来は
 木曜の午前(9:30~12:00)です。

認知症DATA

■認知症高齢者の将来推計

高齢化が進むとともに、認知症の割合も年々増えると予測されています。



12年後には
 高齢者の
 約8人に1人が
 認知症

■は65歳以上人口に対する比率

知ってましたか? 認知症と介護制度

認知症と判断されると、自立度によって介護保険を受けることができます。「要介護認定」の場合、公費でヘルパーやデイサービスを利用できるので、その結果、人との関わりが増えて生活の質が上がり、結果的に症状が改善されたというケースもなかには見られます。



脳の健康を保つヒケツ

「こうすれば進行が止まる」という妙法はありませんが、次の3つを心がけた生活を送れば、認知症予防が期待できます。

食事

ビタミンや不飽和脂肪酸をしっかりと摂る

ビタミンE、ビタミンC、βカロテンなどの抗酸化物質、魚油などに含まれる不飽和脂肪酸を積極的に摂り、新鮮な魚介類、野菜をしっかりと食べるようにしましょう。



運動

適度な運動を心がける

運動をすると、脳の血流が良くなるので、適度な運動を習慣づけましょう。身体活動が低いことは、アルツハイマー型認知症の危険因子にも。



好奇心

好奇心を持ち、能動的な毎日

何事にも能動的で、柔軟性に富んで、楽天的な人は認知症になりにくいと言われています。やりたいことを見つけたら、どんどん積極的にやってみましょう。

